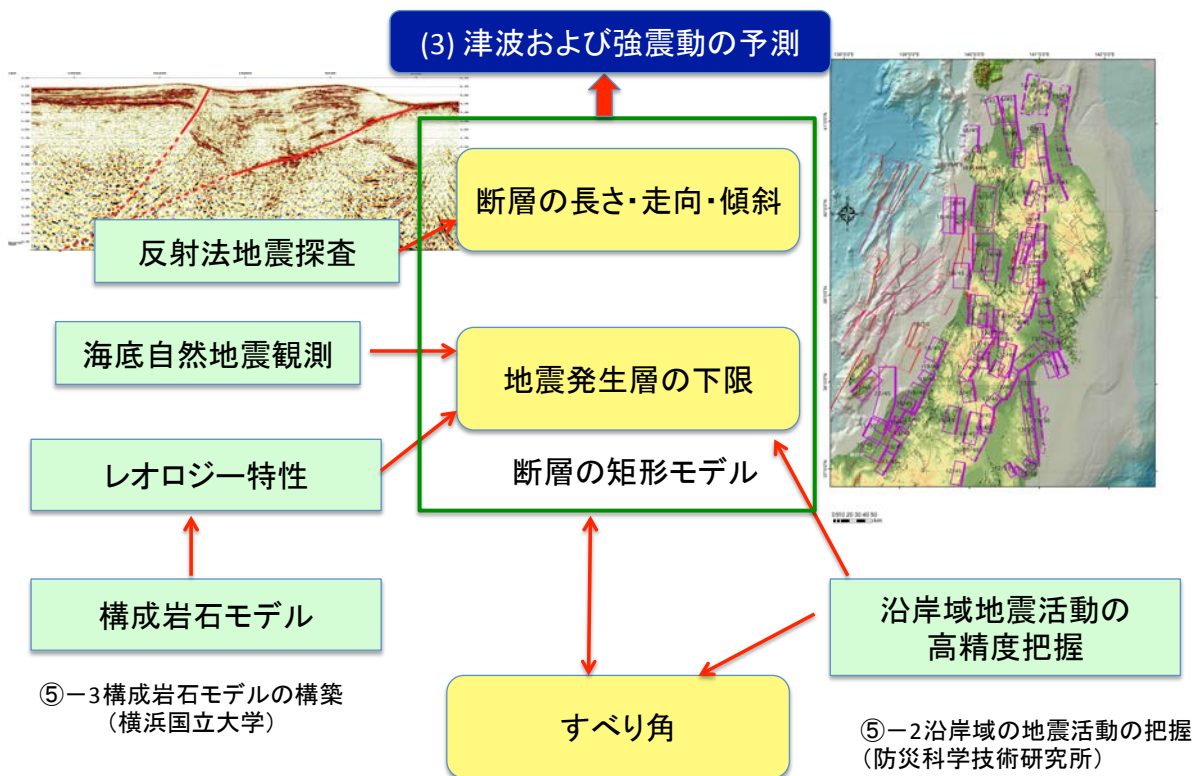


2-5-1 断層モデルの構築

東京大学地震研究所

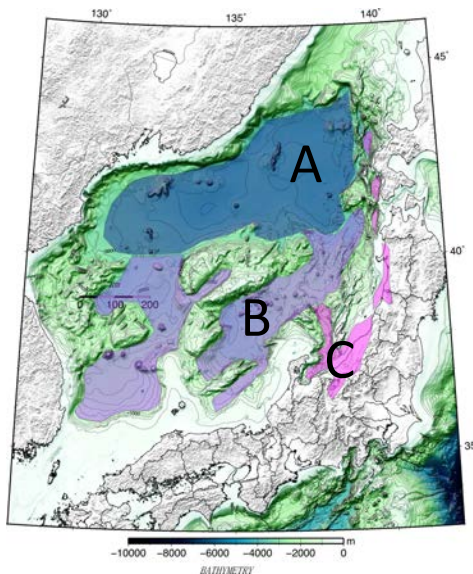
1

(2)-⑤ 津波波源モデル・震源断層モデルの構築



2

一次モデルのための地震発生層の深さ



当面の推定

A, B, 海洋性地殻 18 km

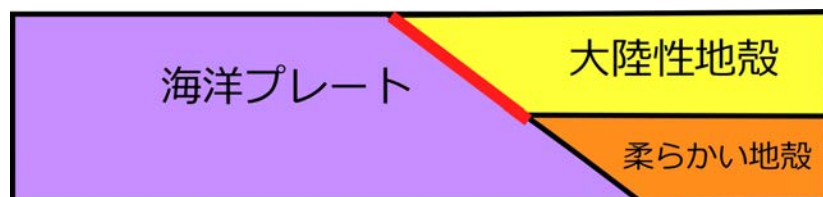
C: 日本海東縁リフト 18 km

それ以外: 大陸性地殻
15 km

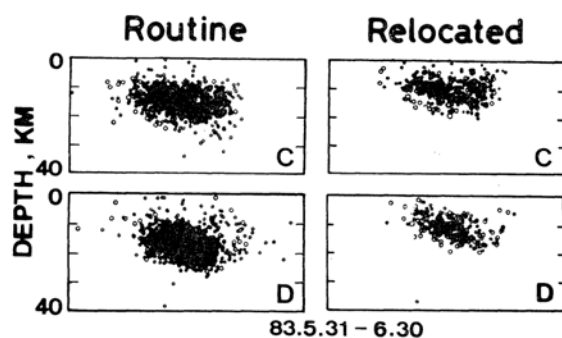
※ 研究の進展に伴い順次、更新。 Eg. 海底地震観測・沿岸の詳細な震源決定・レオロジー

海洋・大陸地殻境界の地震発生層

境界部での現象など、今後の研究が必要

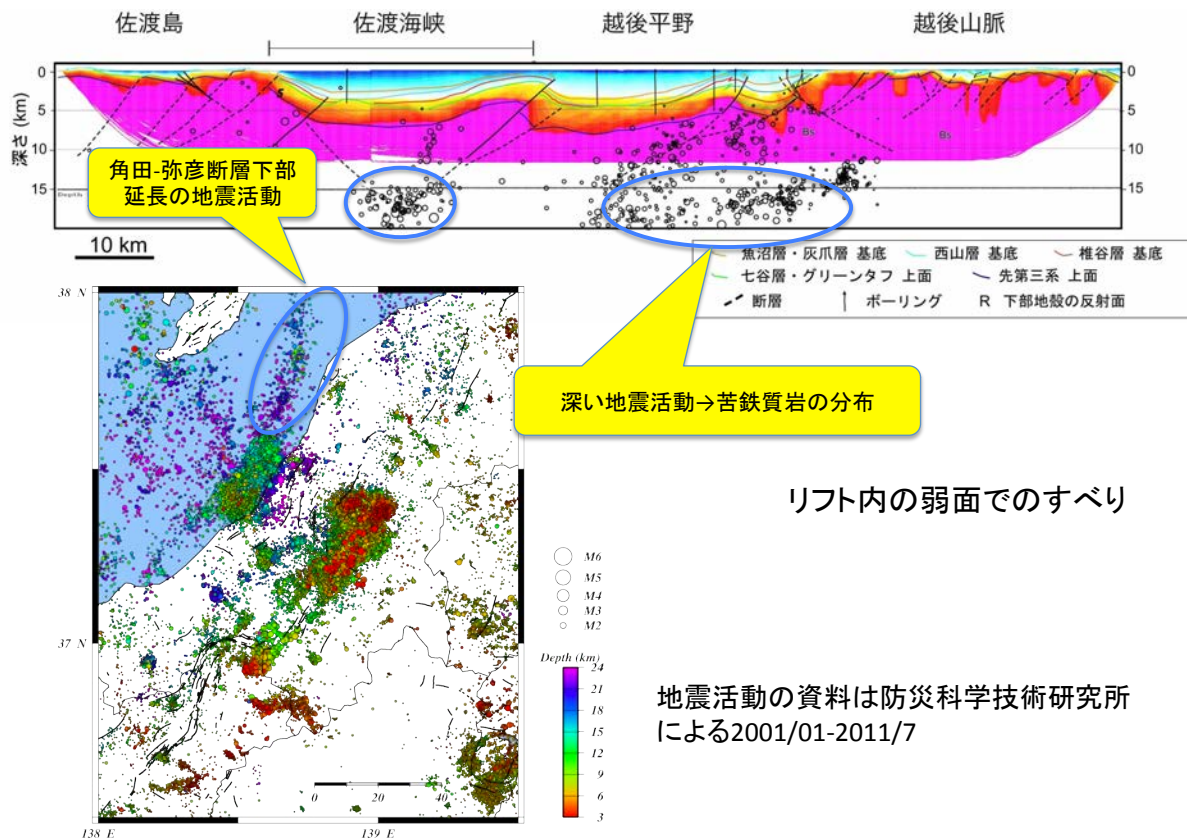


浅い側の地震発生層の深さを重視

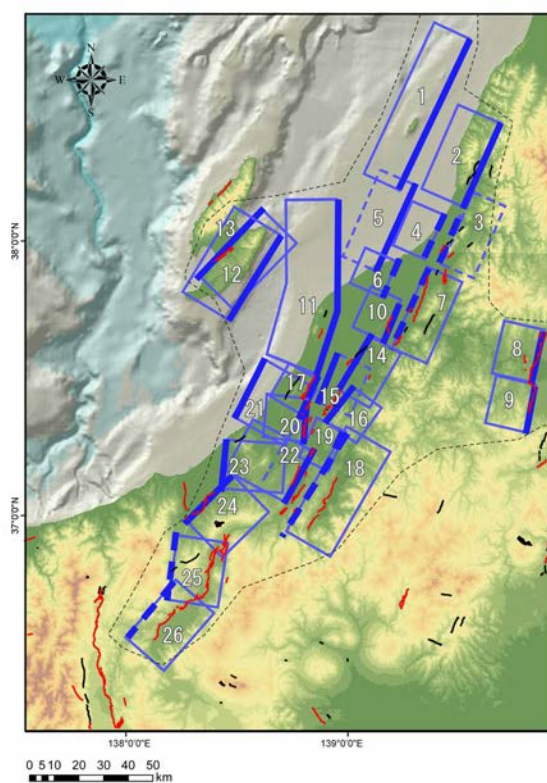


海野ほか (1985)
モホ面と海水面からの反射波を利用して震源深さを決定→20kmより浅い

地殻構造区分



新潟地域の断層モデルの例



断層番号	傾斜(度) (型)	D90 (km)	形態	主断層の 先端部の 深さ	文献番号
1	50(B)	18	R	S	6
2	45(B)	18	R	S	7
3	40(C)	18	W	2 km	※1
4	45(B)	18	R	S	8
5	50(B)	18	R	1 km+	8
6	45(B)	18	R	1 km+	※1
7	45(B)	12	W	2	※2
8	45(B)	14	R	S	7
9	45(C)	14	R	S	7
10	45(B)	18	R	S	※2
11	45(A)	22	R	S	※2
12	45(B)	22	R	S	※2
13	45(B)	22	R	S	※2
14	40(A)	13	R	1	※2
15	40(B)	13	R	2	※2
16	40(B)	13	R	1 km+	※2
17	40(B)	13	F	S	※2
18	40(C)	13	W	5 km	※2
19	50(A)	13	R	S	9
20	45(B)	15	R	S	※2
21	30(A)	15	F	S	2, ※2
22	30(B)	15	F	S	※2
23	30(B)	15	F	1 km+	※2
24	30(C)	13	S	S	10, 11
25	30(C)	13	W	5 km	※2
26	30(C)	13	W	5 km	12

佐藤(2013): ひずみ集中帯調査 総括報告書

- ・平成25年度に実施した沿岸および海陸統合構造調査の成果を、日本海と沿岸域の断層の初期モデルに反映させる。
- ・地震活動の情報(2-5-2)、構成岩石モデル(2-5-3)の成果とともに、断層モデルを更新する。

(沿岸・陸域の断層モデルを作成する)